

# 議会だより

No. 11

2008年  
11月発行

# やあ



10/7 保育所運動会(栄南保育所)

平成20年9月定例会

発行 ● 弥富市議会

編集 ● 議会広報編集特別委員会

〒498-8501 愛知県弥富市前ヶ須町南本田335 ☎ (0567) 65-1111 FAX (0567) 67-4011



▶総合体育大会で行われた  
小学生リレー女子（10月13日・文化広場）

# 9月 定例会

**反対討論（安井議員）**  
十四山保健センターの廃止は、市民本位の市政とは、はるかに隔たりがある。  
今後、このようなやり方は改め、初心を忘れない市政運営をしてもらうことを

**採決**  
賛成起立13人で原案可決 反対（三宮、安井、杉浦） 欠席1人

## 保健センター条例の一部改正

※閉会中の継続審査になつていていた議案です。

強く求め、反対とする。

### 賛成討論（佐藤高清議員）

児童館、子育て支援センターに転用することは、将来を担う子どもたち、保護者が毎日のように利用できる施設として活用するものであり、重要で必要性の高いものと考え、賛成する。

そして固定資産評価審査委員の選任と教育委員の任命に同意し、人権擁護委員候補者を適任であると決定しました。

一般質問には15人が登壇しました。

また6月議会で閉会中の継続審査とした1議案を、原案通り可決しました。

そして固定資産評価審査委員の選任と教育委員の任命に同意し、人権擁護委員候補者を適任であると決定しました。

9月定例会を8月29日から9月22日までの会期で開きました。

市長から19年度の歳入歳出決算認定など19議案が、議員から意見書など8議案が提出され、原案通り可決しました。

議案質疑……………254

一般質問（15人）……5519

やとみフラッシュ……………20

## 表紙の説明



10月7日、栄南保育所で運動会が行われました。綱引きでは祖父母らと対戦し「オーエス、オーエス」（※）という掛け声の下、子どもたちは力いっぱい綱を引いていました。

定例会の審議内容

議案質疑……………254  
一般質問（15人）……5519  
やとみフラッシュ……………20

## 主な内容

# 9月定例会

討論

## 第1次総合計画 基本構想

第1次総合計画の基本構想を定めるためです。

質疑（安井議員）

住宅等建築物の耐震診断および改修支援で、所得の低いひとり暮らしや高齢者だけの世帯に対し、改修する支援をすることはできなか。

答弁（介護高齢課長）

財源の裏付けと優先順位を考慮して、今後どんな支援ができるか検討したい。

質疑（杉浦議員）

穂波通線の東側から名古屋十四山線への接続整備の進捗予定を聞きたい。

答弁（開発部長）

19年度に路線測量が完了し、20年度は用地測量と地権者の了解が得られれば用地買収に着手し、23年度の工事完了を目指すと聞いている。

賛成討論（杉浦議員）  
子ども、高齢者、庶民、農業や中小企業、地方が大切にされる政治にこそ未来があることを申し上げ、賛成とする。

質疑（安井議員）

決算の主要施策報告書で、3年間の施策成果が比較できるよう統一した記載を求める。

全員賛成で可決

## 決算特別委員会

決算に関する事項の審査のため設置しました。

委員長 伊藤正信  
副委員長 武田正樹  
委員 安井光子 中山金一  
渡邊昶 佐藤博 小坂井実  
山本芳照 立松新治

す。歳入142億428万円、歳出137億5、026万円です。

(1) 決算の主要施策報告書で、3年間の施策成果が比較できるよう統一した記載を求める。

答弁（三宮議員）  
19年9月から週5回に拡大した。当面は現行通り実施したい。

質疑（三宮議員）

(4) 19年9月から週5回に拡大した。当面は現行通り実施したい。

質疑（副市長）

できない個所は、文書で次年度の申請に反映することを報告する。

質疑（杉浦議員）

どの道路標識が、古くなつて色あせたり、さびたりしているが、市としてどう対応しているのか。

## 歳入歳出決算認定 19年度一般会計

歳出決算を認定するもので  
19年度の一般会計歳入

(1) 年度内に施工できる個所を、土木申請の案内通知と一緒に個所図を入れている。

(1) 潮見台霊園の墓地のト

(2) 道路管理者が管理するものは、道路パトロールお

(2) 他市の状況をいろいろ検討したい。  
(3) 記載可能なものは記載するよう努めたい。

(1) 少しでも前へ進むように改善してもらいたい。  
(2) これだけやれば十分だという考え方は決してない。改善すべきものは改善しなければいけないと思っている。

(1) 試験的に仮設トイレを設置したが、利用は少なかつた。今後も利用状況を見守っていただきたい。



答弁（総務課長）  
答弁（副市長）  
答弁（副市長）

答弁（民生部長）  
答弁（開発部長）

# 9月定例会

よび地元の要望を受けて新設、改善を行っている。公安委員会の管理するものは、市から早期に整備をお願いしている。

（60歳・松名）

飯田哲夫氏

岡田幹雄氏

（74歳・荷之上町）

任期満了に伴い、後任者の選任に同意しました。

## 固定資産評価審査委員

採決  
全員賛成で可決

## 意見書の提出

学級規模の縮小と次期定数改善計画の実施を求める意

## 教育委員

任期満了に伴い、後任者の任命に同意しました。

加藤正和氏

### 賛成討論（山本議員）

19年度決算は、前年度比で順調に推移した。

大木博雄氏  
(63歳・鎌島)

事業の改善、財源の効率的な配分などを求め賛成とする。

### 賛成討論（杉浦議員）

保育料の据え置きや、同報無線の入札では、1億6,000万円の節約が行われ、目立った改善があつた。

任期満了に伴い、後任の候補者として適任であると決定しました。

### 人権擁護委員

花井功氏  
(61歳・稻吉)

任期満了に伴い、後任の候補者として適任であると決定しました。

福田正美氏  
(64歳・境町)

### 採決

（県知事に提出）

道路整備の促進と道路整備財源確保についての意見書

任期満了に伴い、後任の候補者として適任であると決定しました。

## 12月定例会の開催日程(予定)

11月26日(水)～12月19日(金)

までの会期予定です。

- 11月26日(水) 本会議（議案説明等）
- 12月8日(月) 本会議（一般質問）
- 9日(火) 本会議（一般質問）
- 10日(水) 本会議（議案質疑）
- 11日(木) 厚生文教委員会
- 12日(金) 建設経済委員会
- 17日(水) 総務委員会
- 19日(金) 本会議（委員長報告・討論・採決）

※日程は変更になる場合もありますのでご了承ください。

## 学校建設特別委員会

縮小と次期定数改善計画の早期実施にむけて、十分な教育予算を確保されるよう強く要望する。

（衆議院・参議院議長、総理・財務・国土交通・総務大臣に提出）

「非核日本宣言」を求める意見書

「核兵器廃絶の提唱・促進」と「非核三原則の厳守」を改めて内外で宣言し、核兵器のない世界にする努力をされるよう強く要望する。

（総理・外務大臣に提出）  
「核兵器廃絶の提唱・促進」と「非核三原則の厳守」を改めて内外で宣言し、核兵器のない世界にする努力をされるよう強く要望する。

委員長 大原功  
副委員長 山本芳照  
委員 黒宮喜四美  
安井光子  
三浦義美  
伊藤正信  
武田正樹  
佐藤博  
山口敏子

学校建設等に関する事項の審査のため設置するもの

（衆議院・参議院議長、総理・財務・国土交通・総務大臣に提出）

「非核日本宣言」を求める意見書

「核兵器廃絶の提唱・促進」と「非核三原則の厳守」を改めて内外で宣言し、核兵器のない世界にする努力をされるよう強く要望する。

（総理・外務大臣に提出）  
「核兵器廃絶の提唱・促進」と「非核三原則の厳守」を改めて内外で宣言し、核兵器のない世界にする努力をされるよう強く要望する。

## 三 宮 十五郎 議員



### 入札で、規模の小さい工事にJVを組む必要があるのか

問

入札制度の改善について尋ねる。

(1) 現在の指名競争入札は、(企業が)実際に競争する意

思が無い状況での入札が割高な原因の一つだと思うが、どう考えるか。

(2) 一度も入札に参加していない事業者もかなりある。きちんと公平な入札機会を保障していく改善をしてほしいがどうか。

(3) 小規模な工事【注1】

を、(地元業者が)大手ゼネコンとJV【注2】を組む必要があるのか。解体した旧弥富中学校は、(大手ゼネコンではなかつたが)非常に正確な施工がされていた。

競争性が担保され、地元業者の育成にも役立つ仕組みを考え直していく必要があると思うがどうか。

対応させてほしい。

### 要領の金額要件の見直しを検討したい

答 副市長

- (1) 指名選定は、工事請負業者選定要領に基づき行っている。その条件をクリアする中で指名を幅広くしているつもりである。
- (2) 各業者を何回指名したかの表をつくっている。

もう一度表をチェックし、幅広く公平に指名するようより一層改善させてもらう。

(3) 要領の金額引き上げ等、今後検討すべきことも含め公費節約の取り組みとは

【注1】市では建設工事は設計金額5億円以上、土木工事は2億円以上を対象とする。

【注2】ジョイントベンチャーの略。技術力の有る大手と地域中小企業の組み合わせで、公共事業等を共同で行う手法。

### 海部南部水道企業団の改善を

問

の改善を、市長に尋ねる。

海部南部水道企業団【注】



### 議会組織改革を前提に発言していく

答 市長

- (1) 企業団の中に(公正入札)調査委員会が設けられ、各事業をしっかりと時間かけて調査が継続中である。

- (2) 今後は企業団議会組織の改革を前提にし、どんな構成が望ましいのかを、わたくしも企業団議会等で発言をしていきたい。

(1) 15年から19年度の給排水管工事の入札実績は、総合計で予定価格約31億5、400万円に対し、落札額は約30億8、800万円で97・9%であった。

公費節約の取り組みとは

(2) 愛西市内での漏水に対する損害賠償請求訴訟が18年12月に始まったことが、長期にわたって議会、市民にも報告されなかつた。

が、構成市村長(全員)の管理機能を強め、企業長と副管理者として対応すること

【注】が、現状を改善する要になるのではないか。

【注】市村長の互選で決定する企業長(=管理者)以外の首長は、管理権の無い議員に就任。他の一部事務組合では副管理者になることが多い。

大原 功 議員



## 建設資材の高騰に対し、入札で 単品スライド方式の考えは

問

入札等について尋ねる。

(1) 材料が高騰してきた中で、単品スライド方式【注】

は考えているのか。

【注】激しい物価変動で建設資材が高騰した場合、請負金額の変更を業者が市へ請求できる措置。

(2) 水道管に、アスベストを使っている所はあるか。  
(3) 下水には強制的に加入するものなのか。

更新中で）この2、3年の間にすべてを更新していくようと今進められている。  
(3) つないでほしい。いわゆる義務である。下水道法に基づいて理解を願つていただきたいと思う。



**所得者に減税を  
200万円以下の**

(2) 海部南部水道企業団の（アスベストを含んだ）石綿管の取り換え事業は、（同時に）

▶マンモス化が進む桜小学校

答 市長

答 副市長

**県同様に市も対応している**

(仮称)第2桜小学校の問題は、事業を一歩一歩進めていくことを前提に、同委員会の設置を申し出た。調査費は9月議会に補正予算を組み、測量、地質調査を進めていきたい。

(1) 市も県と同様に対応している。

**学校建設に向け  
調査費の予算化を**

問

会内の委員会で9月に設置。（4頁参照）設置の市長の申し出に、桜学区の保護者は大変喜んでいると聞いた。

調査費を予算化できないか。

次の減税について尋ねる。  
(1) 麻生幹事長（＝現総理）が「300万円までの株式投資に対する配当金を、非課税にしよう」と発言している。市長の考えはどうか。  
(2) 所得200万円以下の人々に、もつと減税するような考え方はないか。

**減税額が大きく税の平等性に欠ける**

答 市長

(1) 個人資産を証券市場へ持っていく、市場、日本企業の活性化に結び付けていこうということで、提案しているのではないか。

(2) 200万円以下の所得者の課税を免除すると約7,000万円という大変大きな金額になる。税の平等性に対しても理解してほしい。

今後の一つの大きな課題ではあるが、減免規定を見直していく形で対応していきたい。

## 炭 竈 ふく代 議員



# JR・名鉄弥富駅の橋上化と 自由通路の推進を

問

JR・名鉄弥富駅の橋上化、(線路北側から行き来可能な)自由通路の推進について尋ねる。

(1) 市の考え方

(2) 19年3月議会で「JA海部南部弥富支店の移転に伴う用地確保」の質問をしたが、整備方針を確認した上で総合的に判断していくと答弁があった。

現在、旧事務所は改裝されて使用されているが、今までにJAとの接触やその後の進展はあったのか。

(3) JR・名鉄弥富駅西側の踏切は交通量が多いが幅が非常に狭く、危険である。整備を早急に考えてほしいがどうか。

(4) 名鉄とJR踏切間の民地を一時待避場所として確保できないのか。

## プロジェクトチーム を編成し調査中

答 都市計画課長

(1) 駅周辺区画整理事業は14年頃まで意向調査が実施されたが、同意率が悪く断念し、道路整備を基本に進めることで現在に至っている。

しかし、駅前整備の市民要望は根強く、19年度後期に大同工業大学の嶋田准教授を中心に、市職員(8人)を含めプロジェクトチームを編成し、調査を重ねている。

(2) 同じくJR・名鉄弥富駅西側の踏切は交通量が多いが幅が非常に狭く、危険である。整備を早急に考えてほしいがどうか。

(3) 具体的な接觸は、プロジェクトチームの整備方針ができた段階での対応にな車を考えてほしいがどうか。

ると考えている。

(3) 以前から鉄道事業者へ要望を行っているが、(周辺の)道路拡幅と(隣の)踏切閉鎖(が必要となる)という条件があり、早期拡幅は非常に困難な状況である。

総合計画にある駅周辺の道路整備計画の中で、道路拡幅と一体的に考えていかなければならぬ。

(4) 名鉄用地が大部分であるが、関係地権者の理解と鉄道事業者との協議が調べば、暫定的な整備を考えていきたい。



# JR弥富駅に快速 みえ停車を

問

JR快速みえの弥富駅停

非常に困難である  
と考えている

答 都市計画課長

同駅は、調査で(一日の)利用者が1、130人と蟹江駅より少なく、非常に困難であると考えている。

安井光子議員



## 妊婦健診の無料回数を14回に拡大してほしい

問

妊婦健診無料化の拡大について、厚生労働大臣は8月、公費負担を拡充し、14回分の無料受診を検討する考えを表明した。市も14回まで拡大するよう求めている。

**21年度から2回拡大し7回を考える**

答 市長

1回(拡充する)当たり約230万円が必要になる。  
19年度に2回から5回に拡大した。21年度からさらに2回拡大するよう考えていきたい。

**要介護者等の税控除認定書は直接送付を**



▲子育て支援センターを訪れた妊婦

- (2)なぜ対象者全員に認定書を送らないのか。

**20年度は個別案内に申請書を同封したい**

答 介護高齢課長

(1)市民への周知は、広報、ホームページに掲載し、PRをした。

(2)認定書の発行行為は申請に基づく手続きで、市民の意思により行われる必要があると考えている。

20年度は個別の案内文に認定申請書を同封し、送付したい。

**原爆写真展を開催してはどうか**

問

要介護認定高齢者の障害者控除対象者認定書の交付

【注】件数が、あまり増えていないが次の事項を尋ねる。

- (1)対象者にどのように通知したのか。

【注】65歳以上で要介護(1～5)(の)認定を受け、かつ一定要件に該当すれば対象になる。所得税、市県民税控除が可能になる。

- (1)8月に、公共施設等で写真展を開催してはどうか。
- (2)戦争体験を聞くことを

問

平和事業の推進について尋ねる。

- (1)8月に、公共施設等で写真展を開催してはどうか。
- (2)戦争体験を聞くことを

問

原爆写真展を開催してはどうか

答 市長

- (1)今後、社会教育施設、小・中学校施設等を利用して実施する方向で検討していきたい。
- (2)今後、戦争体験者の協力を得られれば検討していきたい。

- (3)日米安保条約と地位協定に基づく通常手続きで入港したと理解している。

- 港湾管理を行う県の意向を重視することが望ましいのではないかと思っている。

- 通し、命・平和の大切さを学ぶ機会を設けたらどうか。
- (3)8月にアメリカ海軍イージス艦が弥富ふ頭に接岸した。

- 入港打診があつた時点で、速やかに市、議会、市民に知らせる、こと、非核証明の提出を申し入れてほしいがどうか。

# 一般質問

小坂井 実 議員



## 市の社会教育施設に歌謡シヨーのできる音響設備を

問

総合社会教育センターや十四山スポーツセンターに、歌謡シヨー等ができる音響設備を設置してはどうか。

年に数回開催されるカラオケ大会では、音響設備設置に約50万円かかり、1曲5,000円の高額な料金で参加者が歌つていると聞いている。

地域づくり、地域間交流にも役立つと思うがどうか。

今後も現況のまま利用してほしい

答 社会教育課長

音響機器は使用団体が搬入しており、今後も現況のまま利用してほしいと考えている。

総合計画で、文化ホール

等の生涯学習拠点施設整備を検討することとしているので、その中で音響設備も検討していくことになるとと思う。

## 穂波通線の用地交渉の進展は

問

都市計画道路穂波通線について、平島町の観音寺を通る所が狭いままだが話し合はれてしているのか。

早期移転を求めていきたい

答 市長

観音寺の買収、補償問題は、7月8日に契約済である。移転を計画されており、



さまざまな問題もあるかと思うが、できるだけ早く完全移転を求めていきたい。関係地権者には、引き続き交渉を進めながら北方向への用地買収を進めていく。

（将来的に）道州制や海部地区一本として新市に生まれ変わる構想に立った場合、鉄道アクセスの最高の地ではないか。遠大な構想ではあるが、50年、100年の計に立った場合、一つの選択肢として考えたらどうか【（二）関連記事7頁】。

やるべきことが他に山積している

答 市長

市としてはまだやるべきことが山積している。しかし、総合計画の中でもうつけた構想を打ち出している。財源等も考えながら、前向きな気持ちだけは忘れないようにしていこうと思つて

伊藤正信議員



## 新築が検討される 弥生保育所の現在の状況は

【問】  
(新築の検討される)弥生保育所は、どんな状況か。

人以上の企業に策定が義務付けられた、子育て支援策が中心の計画。期間は17年度から10年間。

【答】  
**用地交渉を準備中  
23年開所を目指す**

【答】  
**市長**

同保育所西側の約4,200m<sup>2</sup>の地権者に相談し、よい返事をもらっている。

21年度の予算組みからしつかりと話し合いをしたい。そういった準備を進めながら、23年春に開所できるような形で進めていきたい。

【問】  
次世代育成支援行動計画

【注】の後期(1122~26年度)に、小・中学生の意見を十分に取り入れた計画を策定してほしいがどうか。

【注】全自治体と従業員300人

鉄鋼スラグ【注】、廃バッ



テリー液処理が不適切な問題【112頁に関連記事】は、農作物の風評を危惧するがどうなっているのか。

【注】19年8月に、市内等に野積みされた鉄鋼スラグ(=鉄鋼の製造工程から出る副産物)から、ホウ素等が検出された問題。

【答】  
**開発部長**

大豆、稲を採取して検査し、基準値内を確認している。

廃バッテリー問題はJAと協議し、米は検査結果が出るまで出荷を見合わせたこと正在している。

スラグ問題は19年度にまた協議会を設置し、全般的に協議していくたい。

一般的に協議していくたい。

企業(進出)による市民の就労促進はどんな実態か。

企業の雇用(情報)を市民に広報等で知らせている。

開発時に地元の優先雇用を会社に依頼している。雇用促進は十分心して今後も推進に当たっていきたい。

▶不法投棄されたごみを回収するシルバー人材センターの会員

【問】  
シルバーに委託する散乱ごみの回収状況は

【問】  
散乱ごみ回収業務【注】について尋ねる。

【注】62カ所の公園等や幹線道路を中心に、市がシルバー人材センターに年間委託し、会員が不法投棄や散乱ごみを週5日程度回収している。6月より開始。

【答】  
**実績**

(1) 回収場所を市内全般にしてはどうか。

【答】  
**環境課長**

**4,550kgを回収**

(1) 8月末現在、可燃ごみ等4,550kgのほかに、テレビ等の家電を回収した。

早期処理で安価にでき、経費節減効果はあると考へている。20年度実績を基に、不法投棄防止のよい方法が見つかればと考へている。

(2) 場所は試行錯誤である。住民より情報がもらえれば臨機応変に回収している。



立 松 新 治 議員

## 国、県の指導の下 に検討したい

(1) 生産者は肥料、燃料等の価格高騰により限界に達している。

山形県では「飼料用米プロジェクト」が、新潟県では「21地産地消運動」と称し、少しづつ努力が行われている。

市には認定農業者、JAの各生産部会等いろんな組織があるが、横のつながりが無い。市として自給率向上のため、連絡協議会を立ち上げてはどうか。

(2) 期限を切り、県に先んじて真剣に自給率向上をやるようにはできないのか。

## 問

### 給食で地元食材の使用に努力を

学校給食について尋ねる。

- (1) 食育推進基本計画【注】で、国は給食の地場産物使用を3割とする目標を挙げた。
- (地元産食材の使用は)市や関係機関の熱意次第だと思うがどうか。



【注】食育基本法に基づき、国

するところが地域作

▶地元産「ふだん草」の入った  
サラダを食べる児童(十四山西部小学校)

## 連絡協議会の立ち上げを

### 問

### 農政課長

- (1) 農林水産省が自給率向上対策室の新設を要望している状況なので、市として

- (2) JAや県と調整をとりながら、石油の関係もあり食糧、機械の高騰も含め前向きに検討させてほしい。

### 答 教育課長

### 答 市長

- (1) 野菜等は海部地区や地元産を優先的に購入するよう、市内の商店に依頼している。給食食材は安定的な供給が必要なので、取りまとめ機関があれば今後検討していきたい。

- (2) 県の方針は食育が非常に大事だという中で、5ヵ年計画、約2億円規模でこの食物を一つずつ手とり足とり教えることが地産地消につながるのではないか。

が18年3月に策定。22年度までの5年間が計画期間。

物を知ることや食育になるので、今後はこうした学校を増やすことが大切と考えている。

食糧生産向上対策について尋ねる。

(1) 生産者は肥料、燃料等の価格高騰により限界に達している。

山形県では「飼料用米プロジェクト」が、新潟県では「21地産地消運動」と称し、少しづつ努力が行われている。

市には認定農業者、JA

の各生産部会等いろんな組織があるが、横のつながりが無い。市として自給率向上のため、連絡協議会を立ち上げてはどうか。

(2) 期限を切り、県に先んじて真剣に自給率向上をやるようにはできないのか。

## 問

### 取りまとめ機関があれば検討したい

そういう流れを一つ一つ確認し、教育で参考にできるものは参考にし、食育への意識を高めていきたい。

や関係機関の熱意次第だとと思うがどうか。

学校の状況にもよるが、直接体験

▶地元産「ふだん草」の入った  
サラダを食べる児童(十四山西部小学校)



山本芳照議員

## 東海プレスの産業廃棄物問題で 排水路清掃はいつ行うのか

問

### 東海プレスの産業廃棄物問題

問題【注】について尋ねる。

【注】廃棄バッテリー処理等を行う同社（＝佐古木地内）が、鉛を含んだ排水を用水路に流した疑い。

(1) 6月11日に市は、排水

路を含めた周辺の環境対策計画を出すように申し入れたが、その回答内容

(2) (1)は間違いなく実施さ

れていたのか。

(3) 用水路ヘドロ除去につ

いての協議結果

(4) 市の水質検査の状況

(5) 市はどの時点で安全宣

言を出す予定か。

渴水期に清掃を行  
う旨の回答である

答

環境課長

同社から、社内整頓、

- (1) 同社から、社内整頓、
- (2) 一日も早く安全宣言を出すべきだと思っているが、これから県、同社を含めしっかりと話し合いをし、住民に安心してもらえる形で努力していく。
- (3) 不検出だった。
- (4) 8月7日に実施し、処理施設の処理水はpH（＝水素イオン濃度）は6.7【注】である。
- (5) 一日も早く安全宣言を出すべきだと思っているが、これから県、同社を含めしっかりと話し合いをし、住民に安心してもらえる形で努力していく。

白鳥コミュニティセンター  
（＝東中地地内）の屋外遊具等について尋ねる。

【注】適正な水質基準（＝5.8～8.6）を満たし、異常は無い。

- (1) 木製滑り台が撤去されたり、いつ新しく設置するのか。
- (2) 木製の物は何年を基準に取り換えるのか。
- (3) 遊具跡地前に木製ベンチ等がある。屋根を設置してほしいがどうか。



中山金一議員

## 栽培研修を行つてはどうか

問

団塊世代退職者向けの農業について尋ねる。

- (1) JAでは、20人規模で売れる野菜づくり講座が1年間無料で開催され、好評である。また刈谷市では、生きがい楽農センターをつくり、団塊世代退職者の新規就農の手助けを行つている。
- (2) 市の遊休地の面積、就農支援を図つてはどうか。
- (3) 遊休地に、農業技術を学んだ人が土地を借り、花の植栽や野菜栽培をし、環境をよくする施策はできないか。

答  
開発部長

県とJAが行う研修を側面的に協力

池を除く面積は約67ha。今年度中に市が譲与を受ける。

## 20年度完成と聞いて

- (1) 20年度完成と聞いているが、事業の概要は。

- (2) JAの協力を得て、三

答  
市長

答  
開発部長

現在、県、JAがそれぞれ技術的な指導を行つて

いる。そういう面について

熟知しながら側面的に協

力していきたい。

(2) 市内の遊休農地は約5haである。

(3) 法規制の問題等もある

ので、農家に限定される。

各集落が実施する農地・

水・環境保全向上対策の一環

として、地域で話し合いのも

とに環境美化等を行つても

らうのが一番ありがたい。

## 1,500万円を想定 県に補助を依頼したい

答  
開発部長

(1) 6年に事業が開始され、総工費は約27億7,905万円である。

(2) 十四山地区は集落ごとに転作用地を回し（減反を行つて）いる。また実施には一区画でないと排水等の問題があり、これは地区で検討していくがざるを得ないと思つてゐる。

そういう問題がクリア

されば、一度JAや生産組合長にそういったつなぎをしてもらうなりして対応はしていきたい。



三ツ又池地区 (10月7日撮影)



佐藤高清議員

## ローカルガバナンスを市はどう進めるのか

問

市におけるローカルガバナンスについて尋ねる。

【注】公共政策の立案やサービス提供を行政、市民、NPO、企業等が参画し、協働して行うこと。

(1) 市としてこの重要性をどう認識し保持していくか。

(2) 研修、政策提言、コンサルティングなどで(市を)支援する第三者機関を立ち上げる考えはあるか。

**自治基本条例を検討したらどうかと思う**

答 市長

(1) 市民との協働によりまちづくりをし、行財政改革を進めながら、その緊急性と計画性に基づいてしっかりと実行していくことが大事だと思っている。

問

(2) 自治基本条例【注】のようなものを一度皆で検討したらどうかと思う。

一定のルールを持つて市

民参画をしてもらい、大事なことは皆で決めていく基

本認識を持ちたい。

【注】自治の基本理念、市民参画や協働の仕組み、市政運営のルール等を定める条例。他の条例や計画制定の際の規範となる。法で自治体に制定義務は無い。

**市役所の改築費用に関する見通しは**

問

25年までに財源を調査し検討したい

答 市長

子どもたちの環境整備をしっかりと考へていきたい、これが優先事項である。

そうした中で、桜小学校マンモス化解消や小・中学校の耐震補強工事を進めているので理解してほしい。

新庁舎については、学校の環境整備後

総合計画にも老朽化への対応、防災拠点機能の強化等を見据え、検討を進める

と明記されている。

庁舎問題の着手には膨大な資金が必要となる。費用等に関する当面の見通しはどうのような考え方か。

つていく。

資金的な問題は、21年から25年の総合計画の前期基本計画期間中に財源等を造に優れた十四山支所を司令塔として、復旧活動が十分できると考えている。



堀岡 敏喜 議員



## 市民が実践できる温暖化対策を示した市民活動計画の確立を

問

地球温暖化問題についての取り組みを尋ねる。

- (1) 市民が実践できる市民活動計画の確立についての認識と今後の対応
- (2) 環境教育のさらなる取り組みを聞く。

答

環境課長

### 環境基本計画を策定する予定である

- (1) 特色ある環境自治体形成の指針となる、環境基本計画を策定する計画である。
- (2) 広報に地球温暖化に関する連載
- (3) 幼児に環境絵本の貸し出し



ペットボトル回収ボックス(栄南小学校)

環境施設見学会④健康づくりエスティバルでの水素燃料自動車試乗会⑤市職員による月1回のノーカーデー

1、毎週水曜日のノー残業デーによる省エネ等一を行っている。

## 地域防災計画を根付かせたい

問

防災月間の9月に防災意識を高め、具体的な防災行動に結び付けるための市の考えを聞く。

答

市長

## 21年度末に耐震化率91%を見込んでいる

問

市民の防災意識の高揚を図る考えは

- (1) 20年度から、小・中学校でペットボトルの回収を始め、八穂クリーンセンター見学を行う学校もある。
- (2) 21年度に二つの学校にエコハイブリッド街灯を設置する。
- (3) 10月には洪水ハザードマップを各家庭に配布し、同報無線【注】は12月末までに市全域を整備する。
- (4) 自主防災組織は、3、4年先には100%まで達成するよう、今後も（各地域に）依頼していく。
- (5) 【注】市内89カ所のスピーカーで防災情報や避難勧告等を放送する設備。19・20年度事業で一部地域は運用中である。

- (1) 21年度は栄南と大藤小体育館、弥富北中校舎、弥生小南校舎、白鳥小北校舎を予定。21年度末は耐震化率約91%を見込み、22年度末にはすべて完了する。
- (2) 予定である。

答

教育課長

20年度当初の耐震化率は約63%で、年度末は約71%になる予定である。

現在、弥生小と桜小北校舎、白鳥小体育館を施工中である。耐震補強ができるない十四山東部小北校舎の西渡り廊下は、取り壊しを予定している。

問

小・中学校耐震化の現状と今後は

小・中学校の耐震化工事の現在の状況と今後の予定を聞く。

渡邊 複議員



## ごみのスラグ化をなぜするのか

問

八穂クリーンセンター

【注】の運営について尋ねる。

【注】海部地区8市町村で構成する海部地区環境事務組合が運営。鍋田町地内にある。

(1) 溶融スラグ【注】(＝以下スラグ)化するのに約4億5、400万円を必要とした。(18年度は4、821tのうち11tで)再利用の比率が少ないが、実際の用途を聞く。

【注】可燃ごみの焼却灰を溶融炉を使い高温で溶かし、固化したガラス状の物質。道路資材等に再利用できる。

(2) 每月行うスラグ溶出試験はクリアされているのか。

(3) なぜスラグ化をしなければならないのか。

(4) 国の指導では、スラグを自らが発注する公共事業等に利用しない、そのとき発注者はその内容を施行条件、設計書に組みなさい

と言っている。

構成市町村が努力しなければ、いつまでもお金だけ使って埋める状態になる。

スラグが安全であるなら、県のリサイクル認定を取ることが必要ではないか。

(5) 7月にスラグの再利用が進まずと新聞報道され、その中の同センターのコメントで、施設面に問題があるようすな発言がされている。

(6) 整備すれば本当に再利用業者が4社有り「あいくる材」として認定を取得していると聞いているが、実際の取引はまだ無い。

(5) リサイクルするには、保管するストックヤードと粒をそろえる磨碎機が無い問題はある。

(6) スラグ化には経費もかかるが市長の考えを尋ねる。

報を通じ、市民に減量を頼んでいる。

スラグについては、3、600万円の処理費【注】を補正予算で組んだ。地元と話し合いをしながら、一

しかし、整備をしても(他自治体の)溶融施設の増加でスラグ供給は増え、需要自体が横ばいで、再利用される保障は無い。

一番の問題は、いろんな方法だと思っている。

角度から製品化を努力し、有効利用を促進しなければならないと思う。

**ダイオキシンの分解処分場の延命である**

答 環境課長

(1) 道路会社にアスファルト用の骨材として2t、建

(6) 組合へ市は5億を超える金額を負担している。ごみを削減することが負担金の削減につながるので、広

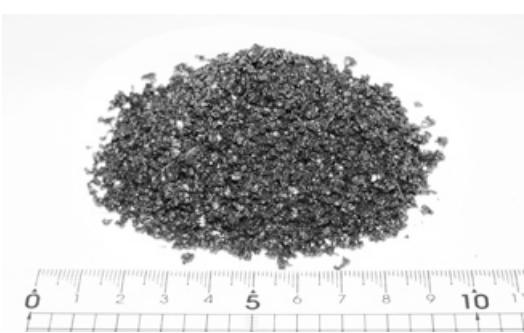
【注】スラグは、ごみ搬入量に応じ構成市町村に返還され、各自で処理する。市は負担金を払い、組合に処理を依頼している。

ならないと思う。

答 市長

(6) 組合へ市は5億を超える金額を負担している。ごみを削減することが負担金の削減につながるので、広

ならないと思う。



◀ 溶融スラグ

材業者に道路の路盤材として9tが利用されたと聞いている。

(2) すべて基準値内と聞いている。

(3) 1、200°C以上の高温処理によるダイオキシン類の分解、そして減容されることによる最終処分場の延命が最大の目的である。

(4) 20年度に同センターとスラグの売買契約をする業者が4社有り「あいくる材」として認定を取得していると聞いているが、実際の取引はまだ無い。

(5) リサイクルするには、保管するストックヤードと粒をそろえる磨碎機が無い問題はある。

(6) 整備すれば本当に再利用業者が4社有り「あいくる材」として認定を取得していると聞いているが、実際の取引はまだ無い。

報を通じ、市民に減量を頼んでいる。

スラグについては、3、600万円の処理費【注】を補正予算で組んだ。地元と話し合いをしながら、一

しかし、整備をしても(他自治体の)溶融施設の増加でスラグ供給は増え、需要自体が横ばいで、再利用される保障は無い。

一番の問題は、いろんな方法だと思っている。

角度から製品化を努力し、有効利用を促進しなければならないと思う。

**ダイオキシンの分解処分場の延命である**

答 環境課長

(1) 道路会社にアスファルト用の骨材として2t、建

# 一般質問



武田正樹議員

(3) 木曽川が決壊した場合の被害の想定

(4) 木曽川が危険水位に達してから避難誘導に至るまでの避難計画

(5) 水深約50cmで避難が危険になり、避難勧告を聞き遅れると逃げ遅れる。もう少し近い位置に避難場所を設定できなか。

(6) (堤防の決壊時は)最悪ほぼ市全域が水没する。初期段階はどこが弱いか、どの程度の避難が必要かが分かつてくるので、最終的な

(2) 尾張大橋上流部で木曽川が決壊した場合、筏川に流れ込むことが想定される。下流部ではんらん、決壊等が起きる可能性はあると思う。

現状の高低差を考えると、筏川、木曽川用いると、水を超えると、市内の北部

**洪水ハザードマップは浸水初期をシミュレーションすべきではないか**

36

災害時のシミコレーシンについて尋ねる。

浸水状態ではなく、初期段階の想定図はないか。

## 国、県と調整して 調査研究していく

答  
總務部長

(1) 水曽川・日光川は  
での堤防決壊を想定し  
浸水範囲、深さを表す  
洪水ハザードマップ  
【注】を作成している。

**注** 10月に全世界へ配布されている（下図）。

(2) 尾張大橋上流部で木曽川が決壊した場合

んらん、決壊等が起きる可能性はあると思う。

ると、篠川、木曽川用  
水を超え、市内の北部

弥富市洪水ハザードマップ

## 木曽川浸水想定区域図

きる。危険水位等に達した場合、現場情報も得た上で避難勧告等を市災害対策本部長（＝市長）が発令する。

市民への周知方法は、消防団のサイレン吹鳴、工事中の同報無線とケーブルテ

(6) 最近はゲリラ豪雨が各地で発生し、予測自体が大変難しい。  
今後、国や県の関係機関と十分調整しながら調査研究していく。

地域一円に浸水するのでは  
ないかと思う。

レビ、広報車により速やかに周知する。

杉浦 敏 議員



## 市内全域の禁猟区指定を県に要請を

問

市内(全域)が禁猟区指定されていない問題を尋ねる。

- (1) 解禁日を迎えると、住民から銃声がする等の不安を訴える声が寄せられる。

(2) 猟友会との調整は具体的に何をするのか。

(3) 実際に指定されるのにどのくらい時間がかかるか。

(4) 学校周辺、通学路、住宅地では銃を撃たないよう要請することは可能か。

後努力していきたい。

- (2) 猟友会としての意見を求め、県への対応を実施していかなければならない。

- (3) 確約はできないが、来年の獵期に間に合うかを一度よく勉強させてほしい。

(4) 獵期の対応は、獵友会の皆に依頼し、周知徹底を図っていきたい。

答

開発部長

**安全面を考慮し今後努力したい**

- (1) 安全面を考慮し、禁猟区指定は獵友会との調整もあるので、それも併せて今

て尋ねる。

**福祉灯油はどうかは実施してはどうか**

問

福祉灯油【注】

の実施について尋ねる。

【注】自治体が低所得者等に灯油代の一部を助成する事業。自治体は、費用の2分の1を国の交付税措置で受けられる。

され、昨年末時点でも県下に実施市町村は無いと聞いている。市として実施する考えはないので理解してほしい。

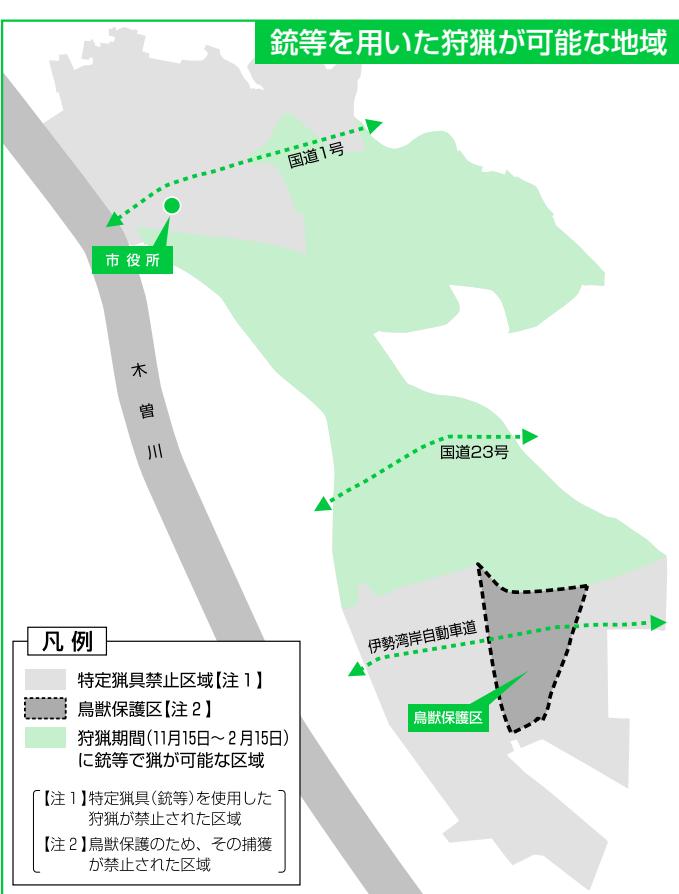
- (1) 実施してはどうか。  
(2) 徳島や岡山県等、暖かい所も使っているがどうか。

市は、子ども医療費の堅持(=中学3年生までの医療費無料制度)、妊婦健診無料化拡大、国民健康保険税の減免を予定し、これらの行政サービス充実を選択する。

**市として実施する考えは無い**

- (1) 同事業は寒冷地で実施

市は、子供も医療費の堅持(=中学3年生までの医療費無料制度)、妊婦健診無料化拡大、国民健康保険税の減免を予定し、これらの行政サービス充実を選択する。



# 一般質問

三浦 義美 議員



## 合併時、新市で行つとした 学校適正配置は検討したのか

問

学校の教育環境整備につ  
いて尋ねる。

(1) 合併時、新市で学校適  
正配置の検討と、必要に応  
じて通学区域の見直しを行  
うとしていたが、その内容  
を検討したのか。

(2) 各小学校の26年度の  
児童数  
(3) (桜)小学校のマンモス  
化をどのように認識し、過  
疎と思われる学校の対策に  
どう取り組むのか。

踏まえた上で学区の見直し  
が起きるかと思う。

(2) 桜小1、099、十四  
山西部小106、東部小1  
67、白鳥小293、弥生  
小670、大藤小149、  
栄南小120である。

(3) 適正規模校(=300)  
700人)と思われるのは  
白鳥、弥生、桜が分離され  
ば桜と第2桜になると思う  
が、残りの西部、東部、大  
藤、栄南小については、若  
干小規模校の範囲に入るか  
と思う。

算を12月に提案すると聞い  
たが、まだ150人ほどの  
徒歩通学者があるので、(全  
員自転車通学が可能にな  
るのか)再度確認する。  
(2) 同校グラウンド東側の  
学校用地に草が生い茂って  
いるが、ほとんど管理して  
いないのではないか。

(2) 同校グラウンド東側の  
学校用地に草が生い茂って  
いるが、ほとんど管理して  
いないのではないか。

## 学校・PTAの協議 を待つて整備したい

答 教育長

(1) 19年度、自転車小屋を  
増設し、現在約3分の2の  
生徒が自転車通学が可能な  
状況である。

他校はすべて自転車通学  
が自由で、北中にも(同様  
に)話をしたが、(交通安全  
上の)いろんな理由から制  
限されていると聞いている。

可能になるよう学校とP  
TAで協議をしてもらい、  
理解が得られたら、市とし  
て補正予算で自転車小屋を  
建てたい意向を持っている。  
(1) 駐輪場(増設)の補正予  
算を12月に提案すると聞い  
たが、まだ150人ほどの  
徒歩通学者があるので、(全  
員自転車通学が可能にな  
るのか)再度確認する。

い。

## 消防団再編の その後の経過は

問

合併時に、十四山と弥富  
地区の消防団が再編すると  
いう話があつたが、その後  
の経過はどうなつてているか。

## 統廃合を12月議会 で承認願いたい

答 防災安全課長

分団の統廃合は案を作成  
し、区長、団幹部と調整を  
図り、12月議会に承認願い  
たく検討しているところで  
ある。

これに伴い、分団数、定  
員、区域、名称(の変更)や  
消防ポンプ積載車の配備、  
格納庫や火の見やぐらの撤  
去等(の調整)が出て来る。  
さらに、新たな活動服の  
更新などの予算化を含め、  
引き続き研究していく。

# カメラスケッチ やまとフラッシュ!

## 秋色鮮やか

鮫ヶ地地内にあるコスモス畑に10月17日、十四山西部小学校の児童が訪れました。

市内の市民団体「鮫ヶ地コスモス会」が約4,000m<sup>2</sup>の休耕田を活用し、毎年栽培。児童たちは、敷地内で枝豆の収穫も行い、秋を満喫していました。



## わたしが「すいそくん」です

県所有の燃料電池車「すいそくん」の試乗会が10月19日、文化広場で行われました。

同車は水素と酸素で約300km走行可能でCO<sub>2</sub>を排出せず、排出物は水だけ。参加者は、運転中ほぼ無音でタイヤの音しかしない「すいそくん」に、驚きの声を上げていました。

## いつも使う所だから

通学路集合場所の清掃活動が10月27日、白鳥小学校区の各地区で行われました。

いつも使う集合場所をきれいにしようと、同校が毎年開催。集団下校の後、各地区に分かれた児童は、公園や神社でボランティア清掃に取り組んでいました。

